

# MESSAGE

## 未来に踏み出した 卒業生から

未来をつくるチカラを身につけて、学科を巣立って行った先輩たち。  
社会に出て充実した日々を送る卒業生から、  
これから八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部で学ぼうとする後輩たちへ、  
メッセージが届きました。



### 地域経営学科 ▶ 青森県農村工業農業協同組合連合会 (JAアオレン)

#### 佐々木 一哉 さん

八戸学院大学  
ビジネス学部 ビジネス学科  
2014年3月卒業  
(現:八戸学院大学 地域経営学部 地域経営学科)



仕事に就いた当時は営業に配属され、販売推進の業務を担当していましたが、現在は製造課でりんごジュースの製造に携わっています。我々が作っている商品は、青森県内での知名度の高さだけでなく、台湾をはじめ海外の多くの国々にも輸出している世界に通用するりんごジュースであることを誇りに思っています。大学時代は、実家を離れて1人暮らしをしながら通っていたのですが、大学の先生や友人たちのおかげでとても充実した4年間を過ごすことができました。八戸学院大学は一人ひとりの学生のサポートをしっかりとくれるので、大学生活に不安のある人でも安心して学ぶことができると思います。就職活動に関しても大学で行われるセミナーや講演会等で、さまざまなアドバイスを受けることができます。そのおかげでコミュニケーションスキルもあがり、充実した就職活動を行うことができました。

### 人間健康学科 ▶ 八戸消防署第一消防隊

#### 新田 諒介 さん

八戸学院大学  
人間健康学部 人間健康学科  
2015年3月卒業  
(現:八戸学院大学 健康医療学部 人間健康学科)



子供の頃から強く憧れていた消防士として現在は24時間体制で出勤に備え、待機中は機材の整備、訓練、事務作業等を行っています。日々の厳しい訓練の成果を発揮し、現場においてスムーズな活動が出来た時はやりがいを感じます。一方、24時間体制で待機するのは体力には自信がりましたが、気を張り続けるためとても大変なことだと感じています。そのため、休日に切り替えてリフレッシュすることや日々の更なる体力作りにも努力しています。大学生活は自由時間が多く、部活動やサークル活動、大学行事や友人との思い出作り等に打ち込む時間はとても重要で、私自信も大事にしていました。しかし就職に対しての準備を早い段階からすることも忘れてはいけません。同じ志を持った学生と勉強だけではなく、意見や情報の交換をすることで就職試験に対する高いモチベーションを保つことも出来ると思います。

### 看護学科 ▶ 十和田市立中央病院

#### 宮 未来子 さん

八戸学院短期大学  
看護学科  
2016年3月卒業  
(現:八戸学院大学 健康医療学部 看護学科)



学生時代は自分で上限を決めて、ゆっくりとしたペースで勉強していましたが、仕事に就いてからは高いレベルでの能力を求められるので、学生時代以上に高い意識でスキルアップをめざしています。就職活動で印象に残っているのは、先生やキャリア支援課の方々に小論文の書き方などについてアドバイスや指導を受けた点です。自分では小論文を書くのがあまり得意ではなかったのですが指導を受けているうちに自信もつき、就職活動に前向きに取り組むことができました。現在は、看護師として日々勉強の毎日です。1年目は自分の知識や経験不足から迷ったり悩んだりすることもたくさんありましたが2年目になり、自信もついてきました。自分が担当している患者さんが退院するときなどに本人や家族の方々から感謝の言葉を貰ったり、自分が行ったケアの成果が出た時などはとてもやりがいを感じます。

### 幼児保育学科 ▶ 八戸学院聖アンナ幼稚園

#### 長島 はる香 さん

八戸短期大学  
幼児保育学科  
2011年3月卒業  
(現:八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科)



幼稚園教諭をめざすきっかけになったのは、中学生時代に幼稚園で働く先生から仕事の話聞く機会があり、将来は自分も幼稚園で働きたいと強く感じたからです。短大時代の教育実習でも子供たちの笑顔に触れ、教えることの楽しさにも触れ、一層その思いが強くなりました。日々の仕事は毎日新しいことの連続で、気付きもあれば反省することもあります。子どもたちに対する接し方や指導の在り方、教育・保育についても考えさせられることが多くあります。そんな中でも子供たちが元気よく挨拶をしてくれたり、笑顔で自分の名前を呼んでくれた時などは本当にこの仕事をしていて良かったと実感し、やりがいを感じます。将来、幼稚園教諭をめざしている高校生の皆さんには、将来の目標へ向けて失敗を恐れずに何事にもチャレンジし、ぜひ自分自身の夢をかなえて欲しいと思います。